

松戸市交通安全計画(案)へのご意見と本市の考え方

No	頁	意見内容	本市の考え方	修正有無
1		新たな交通安全計画(案)は、前計画を検証の上での計画と思うが、これまでと何が違うのかを冒頭で示すべきと考えます。PDCAサイクルにて実現を図る。	貴重なご意見ありがとうございます。計画全体のあり方や今後の進め方に対するご意見と承りました。交通安全の推進にとって発生した事故を詳しく分析することは非常に重要と認識しており、毎年、所轄警察署や交通安全関係団体等と共同で現地調査を行っております。この計画は、本市が取り組むべき交通安全の諸課題を網羅し、各施策を体系的に位置付けたものでありますが、特に重点的に取り組むべき項目を「交通安全計画の重点事項」として掲げております。	無
2		事故発生箇所や要因分析は重要と考える。箇所を詳細に特定することによって対策が異なるはず。是非、掘り下げた調査を実施してもらいたいと思います。	今後、計画を進めるにあたりましては、PDCAサイクルを意識しながら、より効果的な啓発のあり方を模索してまいります。	無
3		限られた予算、時間の中での整備となるため、優先順位も示してはどうでしょうか。		無
4		交通違反や不可避な事態により事故も発生するため、交通安全規制・施設整備だけでは事故は避けられません。そのために市民の協力が不可欠と考える。ただ現状では、参加の場や機会がわかりにくいので呼びかけ方法を検討してほしいです。		無
5	7	交通事故を起こさせないための取り組みについて免許返納をしても困らないように、公共交通機関の補助のほか、移動支援、買い物支援などにしっかりサポートしてほしい。そして、それを高齢者の関わる課と連携してPRしてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見につきましては、交通管理者であります警察署と、市役所内の関係部署へ申し伝えさせていただきました。共に連携を図りながら、交通安全の推進に努めてまいります。	無
6	11	子どもの安全確保について 安心して子どもを産み育てることができる社会の実現先日、小規模保育所のことで、担当から話を伺ったのですが、小規模保育所では、庭が全く無いため、0歳から2歳までの幼児を1日に一回は、外に連れて行っており、歩道も満足に整備されていないような所を通っているのを見て、交通安全はどうしているのか聞きました。保育士さんたちが配慮をしているとのことでしたが、松戸市は、今も小規模保育所を増やしていて、すでに100箇所を超えています。毎日、それだけの保育所から散歩に出かけているのですから、通学路対策と同じくらい気をつけなければならないはずです。話では、通学路の指定と同じような「キッズゾーン」ということも構想にはあるとのことでしたが、この計画には、どこにも書いてありません。普通の保育園や保育所も、たまには散歩には出ていますし、幼児の集団事故が起こる前に、何らかの対策が必要だと思います。何らかの計画を示してください。	貴重なご意見ありがとうございます。子どもの安全確保につきましては、本市の交通安全の推進にとって大変重要なテーマであり、今回の計画にあたっては計画全体の体系の中に然るべく位置づけを図ったところでございます。いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として関係部署へ申し伝えさせていただきました。共に連携を図りながら、さらなる交通安全の推進に努めてまいります。	無

7	13	<p>生活道路・幹線道路における安全確保 松戸市のいくつかの箇所に、周りを歩道のある幹線道路で囲まれて区切られているごくごく普通の住宅ブロックを通る生活道路の交差点に、突然信号機が立てられている場所が存在します。 周りを幹線道路で囲まれているブロックという状態からわかるように通行する道路がないと言うわけではなく、幹線道路を走行すべき自動車が生活道路へ流入しているため、見通しの悪い住宅ブロックの中心で流入車両同士が衝突事故防止目的に立てられたものです。 しかし「その箇所での流入車両同士の衝突事故防止」という狭い目的は達成されるものの、計画案のP13とP24で指摘されている通り「幹線道路を走行すべき自動車が生活道路へ流入すること防止」自体をする交通規制が同時になされなかったため、近年の幹線道路区間の大規模開通と信号機の設置されている道路を優先的にルート選択するというカーナビゲーションシステムの性質などの要因が重なり、さらに多くの通過目的車両が生活道路に流れ込む事になりました。(最近はコロナの影響で落ち着いておりますが、以前の生活に戻ればまた以前の交通状態に戻ると考えられます) そこで「幹線道路を走行すべき自動車が生活道路へ流入することを防止」の方法なのですが、同じ住宅ブロック内でも衝突事故防止目的の信号機だけを立てた箇所と「指定方向以外進入禁止」の交通規制も敷いて通過目的車両が通過できなくて車両の流出自体を防止した箇所の2種類があります。 ですので衝突防止目的の信号機を設置した箇所にも合わせて同じように「指定方向以外進入禁止」の交通規制も敷いて、交差点の直進方向の通過目的車両の流入防止を検討して頂けたらと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見につきましては、交通管理者であります警察署と、市役所内の関係部署へ申し伝えさせていただきました。共に連携を図りながら、交通安全の推進に努めてまいります。</p>	無
8	14	<p>地域が一体となった交通安全対策の推進 子ども110番の家は、PTAで募ったり管理するだけでは足りない。高齢化して店が閉店したり辞退されている。毎年1回でいいので、広報まつどで110番の家を募集してほしい。新規で追加になったところを学校に情報としておろしてほしい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 子ども110番の家につきましては、いただいたご意見を参考にさせていただき、関係部署と連携を図りながらのより良い周知方法を模索してまいります。</p>	無
9	14	<p>地域が一体となった交通安全対策の推進 スクールガードのなり手が少ない。里山ボランティア養成講座のように、毎年必ず増えて、活躍の場につなげる仕組みを作してほしい。どうやったらなれるのか、市のHPや警察のHPも見ましたがわかりません。市民安全課に問い合わせたら、たしか保健体育課にまわされ、結局「学校が管理しているからわからない」と言われ、学校に問合せたらやはりわからないと言われました。校長先生、教頭先生も2年程度で変わるし、学校に任せるのは無理がある。PTAは共働き世帯が増えているため、そこまでの負担は難しい。やはり、市が旗を振って、ボランティアの育成を行ってほしい。もしくは、増える高齢者の活躍の場づくりということで、高齢者福祉の部署や社協などで実施してほしい。とにかく、活動参加のフローを作って市のHPに明示してほしいです。 こどもたちの安全のためになら手伝ってもいいという親は多いです。交通事故や犯罪が多い地区の小学校などから優先順位をつけて、PTAや周りの町会に広報して、小学校の体育館などを使ってスクールガード講座や説明会などを実施してほしい。 少子高齢化で、より多くの大人で子どもを見守ることができるはず。今のスクールガードは、計画などを出さないといけない(面倒、ハードルが高い)ので、もっと気楽に見守りに参加できる仕組みを作してほしい。横断歩道に登校旗などを常設して、子どもが渡ろうとしていたら近くの大人が旗を振ってあげるなど。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 スクールガードの仕組み作り等につきましては、いただいたご意見を参考にさせていただき、関係部署と連携を図りながら進めてまいります。</p>	無

10	20	<p>自転車レーンを走っていて、歩道の信号が赤だったとき、車道の信号が青だったので走行したら、歩道で自転車を止めていた人に「赤よ！」と怒鳴られた。どっちが正しいのですか。自転車レーンの向きと違う方向に向かって走っている人がいて怖い。ルールのお知らせには、小中高で、学校で教えるのがいいと思うが、小学校の場合には、保護者も一緒に受けられるといいと思う。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 自転車走行中は軽車両扱いとなりますので、車道の信号に従うルールとなっております。 いただいたご意見につきましては、関係部署へ申し伝えさせていただきました。共に連携を図りながら、交通ルールをより効果的に啓発できるよう努めてまいります。</p>	無
11	21	<p>小学校の期間は人間形成、また社会性を身につけるにあたり重要な期間であり、かつ記載の通り行動範囲も著しく広く、この時期に行う交通安全教育の意義は極めて大きいものであります。 こうした安全教育に関してはまず家庭の責任が一番大きいと考えますが、交通ルールは言わば社会のルールであり各家庭の環境に左右されることは好ましくありません。学校における交通安全教育も同様で松戸市によって推進はしつつも実態は各学校の裁量に委ねられており、ましてや今日のコロナ禍においては諸々の対応や制約により学校間によって差が生まれているのが現状です。繰り返しますが交通ルールは社会のルールです。こうした社会に出る上で命に関わる必要な知識の習得・経験値が学校によって左右されることはあってはなりません。またこうした実態をコロナ禍を理由として許容すべきではありません。 この社会情勢下で学校にもできる限りのことは行っていただいておりますが、自分や他人の命を守るための知識の習得や経験値の獲得の機会を同じ松戸市内において学校によって喪失、また薄いものとならぬよう、小学校に対する交通安全教育を松戸市として推奨レベルでなく義務に近い特別教育として市が強力に主導してあらゆる学校活動の中でも優先度を上げていただき、各校で差が生まれることのないよう機会の平等を重要視し、継続的かつ確実に行われるよう学校への支援含め計られること、またこうした事柄に関し広報の徹底を強く希望いたします。 交通ルールを守るとはイコール命を守ることということ念頭に今後の交通安全行政に取り組みされることを期待します。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 小学生に対する交通安全教育についてのご意見をいただきました。子どもへの段階的な交通安全教育は本市の交通安全推進にとって大変重要なテーマであり、今回の計画にあっても計画全体の体系の中に然るべく位置づけを図ったところでございます。いただいたご意見につきましては、関係部署へ申し伝えさせていただきました。共に連携を図りながら、交通安全に努めてまいります。</p>	無
12	23	<p>高齢運転者対策の充実 私も70歳の高齢運転者ですが、確かに運転能力の衰えを感じます。運転免許をいつ返上しようかと考えていますが、便利ですので、つい、まだ大丈夫かなと思ってしまいます。私の世代からは、ほとんどの女性が免許を持っていますので、高齢運転者は増えるばかりです。人によって条件は違うというので、法律や条例で、年齢制限をするのは難しいと思いますが、高齢運転者の事故は絶対に増え続けると思います。高齢者が事故を起こす前に積極的に免除を返上するような奨励策が必要だと思えます。免許証を返納すると、免許証を持っていたという証明書がもらえると聞いたこともありますが、そうした情報も必要ですし、何か魅力的な施策を計画に入れてください。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見につきましては、交通管理者であります警察署と、市役所内の関係部署へ申し伝えさせていただきました。共に連携を図りながら、交通安全の推進に努めてまいります。</p>	無

13	25	<p>都市計画道路337号幸谷区間が開通してもうすぐ10年になります。関さんの森を守る形に変更されたのは良かったのですが、すごい交通量で、渋滞が日常化しています。渋滞緩和のための都市計画道路の整備であったはずが、他の道路の状況は変わったかもしれませんが、関さんの森では、大気は汚染され、騒音と振動はひどく、樹齢百歳を超えたソメイヨシノ桜が衰えてきました。確かに車を使う人には便利で良いかもしれませんが、地域の交通安全のためにになっているのかもたいへん疑問です。道路を横断して新松戸駅へ向かう歩行者の安全のためにと町会からもそれまでの既設道路をつなぐための「横断歩道」の設置を要望したのですが、車の通行に妨げになると許可されていません。幸い大きな事故になっていませんが、住民はそれまでのように自己責任で渡っていますので、たいへん危険ではあります。</p> <p>都市計画道路の推進は交通安全には、役に立たないと思います。今、この337号線に交差する形で、3418号馬橋根木内線の幸谷区間の一部分の工事が始まっています。170メートルで17億円かかるそうです。交差部分に信号をつければ交通渋滞が更に進でしょうし、歩行者や自転車の交通安全に寄与するとはとても思えません。少ない道路予算の中で交通安全のために道路整備を考えると考えるならいつ開通するのか馬橋にも根木内にもつながらずこのまま終わるのか予測もたない都市計画道路の整備は止めるべきです。もっと他の緊急性の高い道路整備事業があります。交通安全の立場から緊急性の高い道路整備を決めるための道路計画検証をこの交通安全計画で立ててください。この3418号線の建設にあたっての理由付けに幸谷小の校長先生からの通学路の整備を求める要望書が使われていますが、他のもっと危険な通学路を放って置いて、17億円を使ってわずか170メートルの道路を作ろうという松戸市の計画にあきれざるばかりです。少なくとも交通安全計画の中に都市計画道路整備はふさわしくありません。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 都市計画道路の整備につきましては本市の交通安全の推進にとって大変重要なテーマであり、今回の計画にあたっては計画全体の体系の中に然るべく位置づけを図ったところでございます。</p> <p>いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として関係部署へ申し伝えさせていただきました。共に連携を図りながら、さらなる交通安全の推進に努めてまいります。</p>	無
14		<p>国道6号線の下りで右折専用車線がない交差点の右折禁止を提案します。右折車を左側から追い越す車両で危険な場合に幾度も遭遇します。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見につきましては、交通管理者であります警察署と、市役所内の関係部署へ申し伝えさせていただきました。共に連携を図りながら、交通安全の推進に努めてまいります。</p>	無